

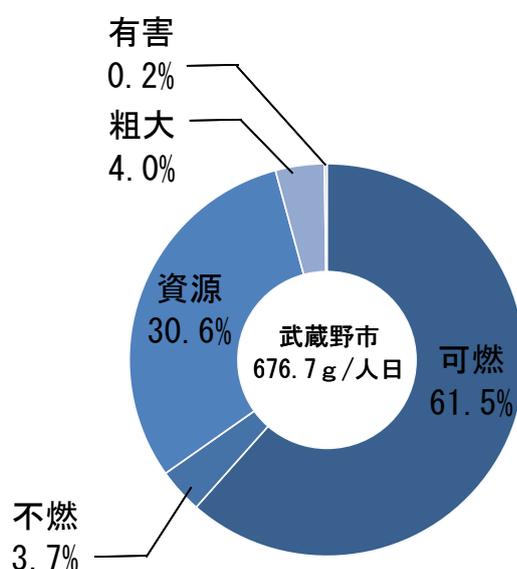
# 武蔵野市のごみの現状について

## 1. 武蔵野市のごみ排出実態

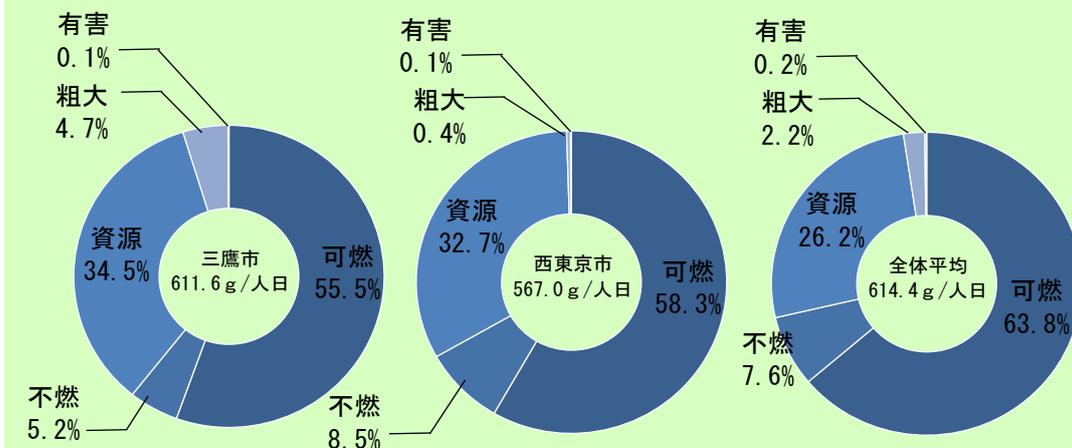
### (1) 収集量

武蔵野市のごみ排出量とごみ組成についてです。

武蔵野市の平成24年度ごみ収集量は約34千トンで、市民1人1日当たりの排出量に換算すると、676.7gになります。



[近隣都市と平均]



## (2) ごみの組成

平成25年12月に実施したごみの組成分析調査の結果を以下に示します。

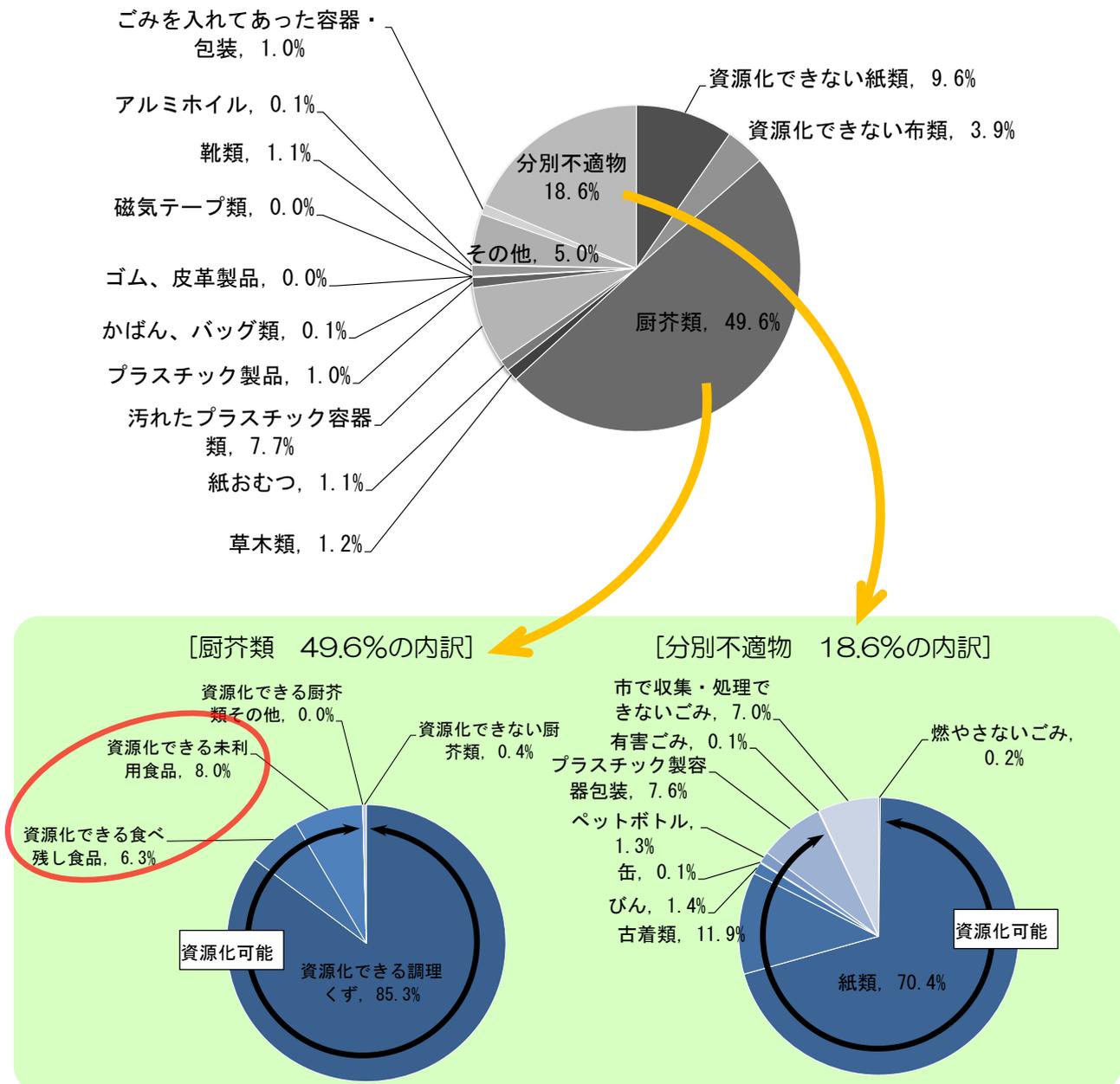
### ①可燃ごみ

可燃ごみは厨芥類が約50%、資源化できない紙類が約10%、汚れたプラスチック容器類が約8%でした。

厨芥類の内訳を見ると、厨芥類のうち、資源化できる調理くずが約85%、資源化できる食べ残しが約6%、資源化できる未利用食品が約8%と、資源化できる厨芥類が約94%を占めていました。

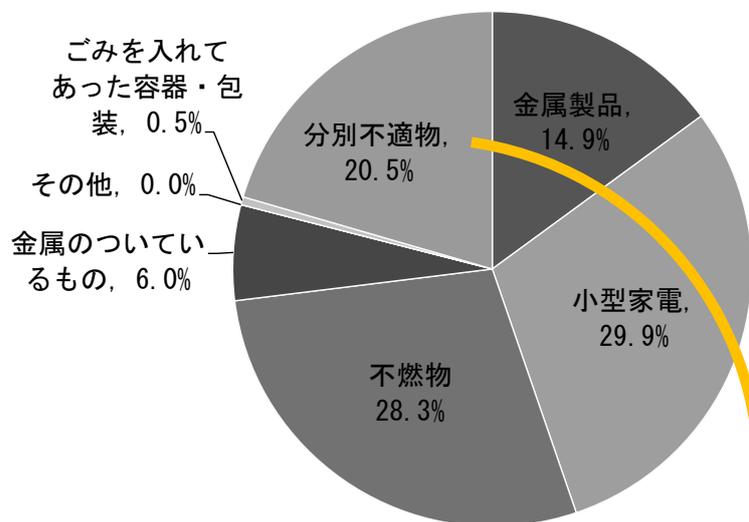
可燃ごみには分別不適合物が約19%含まれていました。

分別不適合物の内訳は、紙類が約70%、古着類が約12%、プラスチック製容器包装が約8%等、資源化可能なものが約93%占めていました。

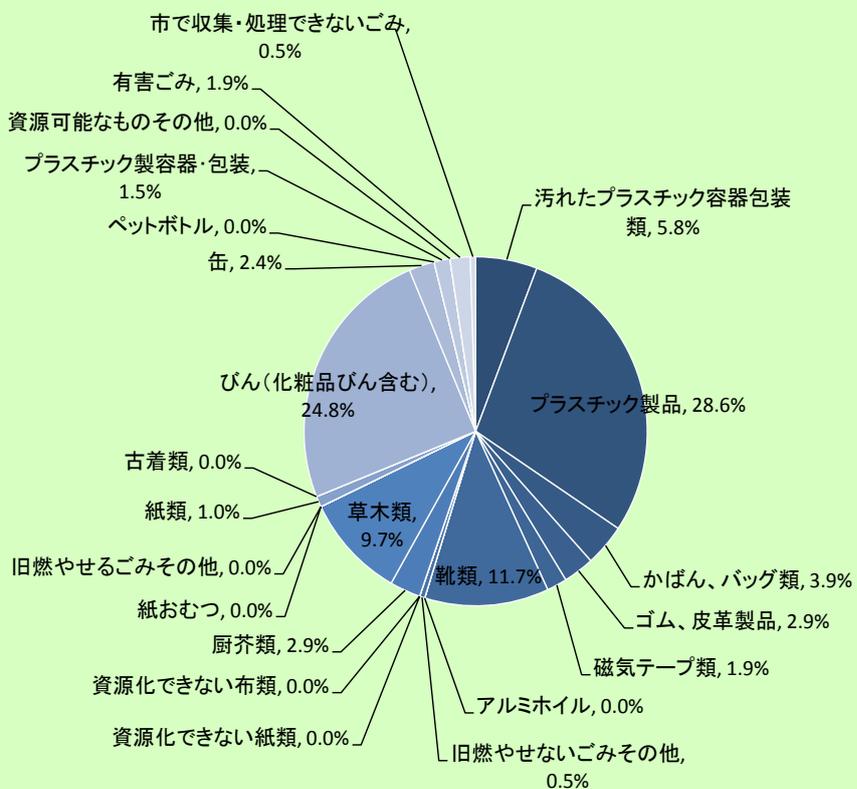


②不燃ごみ

不燃ごみは小型家電が約30%、金属製品が約15%、不燃物が約28%、分別不適合物が約21%でした。不適合物の内訳はプラスチック製品が約29%、びんが約25%でした。



[分別不適合物 20.5%の内訳]



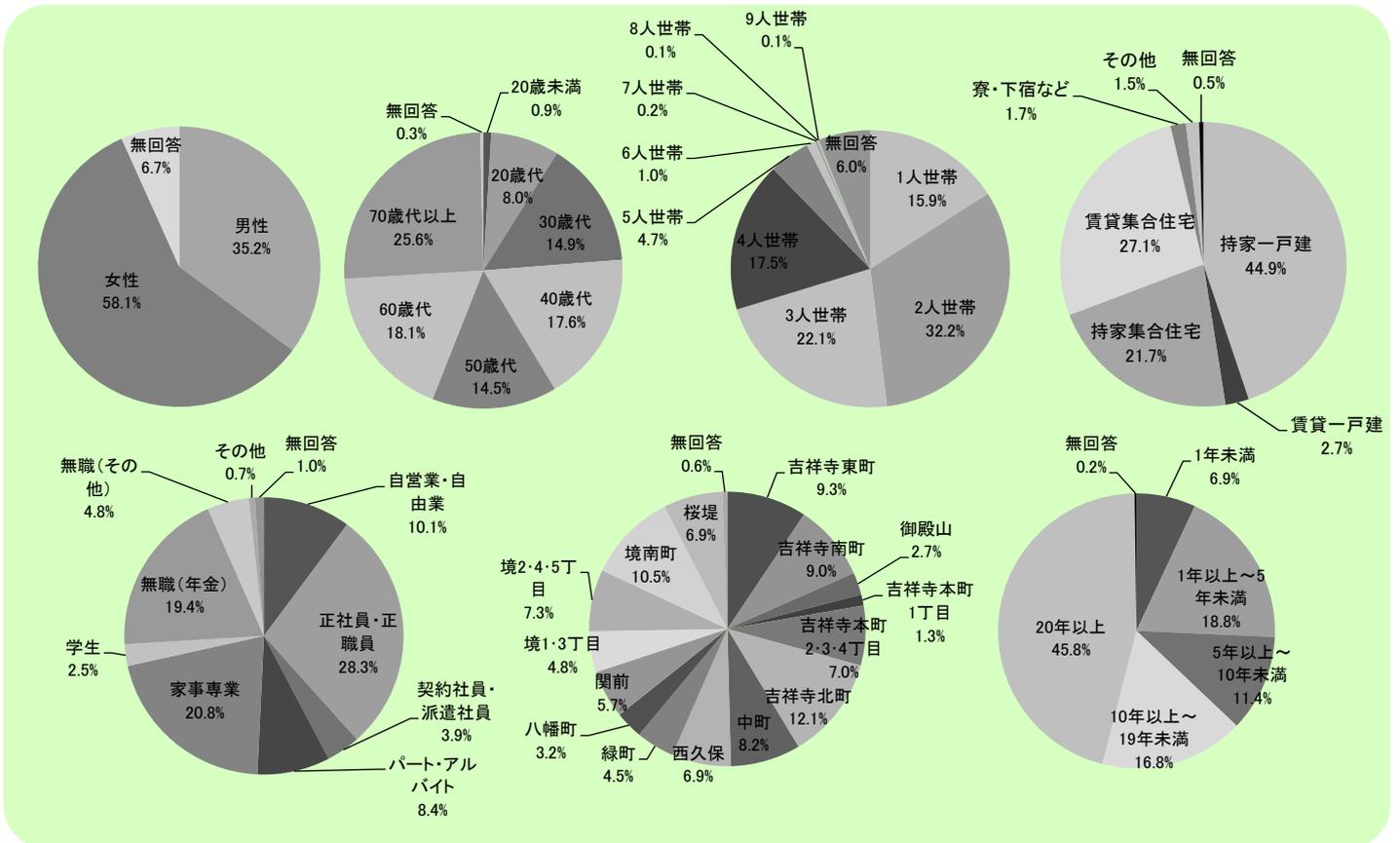
## 2. 市民 ごみ排出実態アンケート調査

### (1) 調査結果の概要

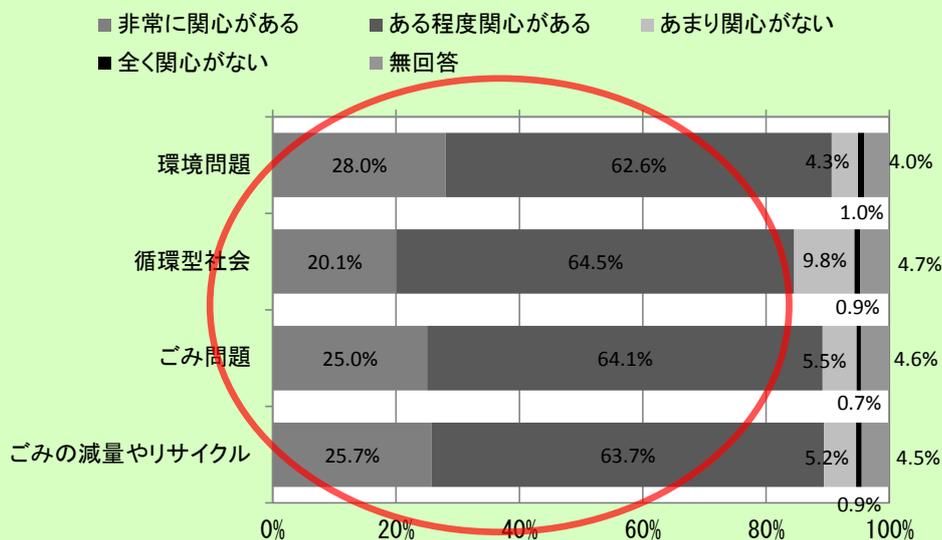
住民基本台帳をもとに、18歳以上の市民から無作為に2,000人を選び、アンケート調査を実施しました。

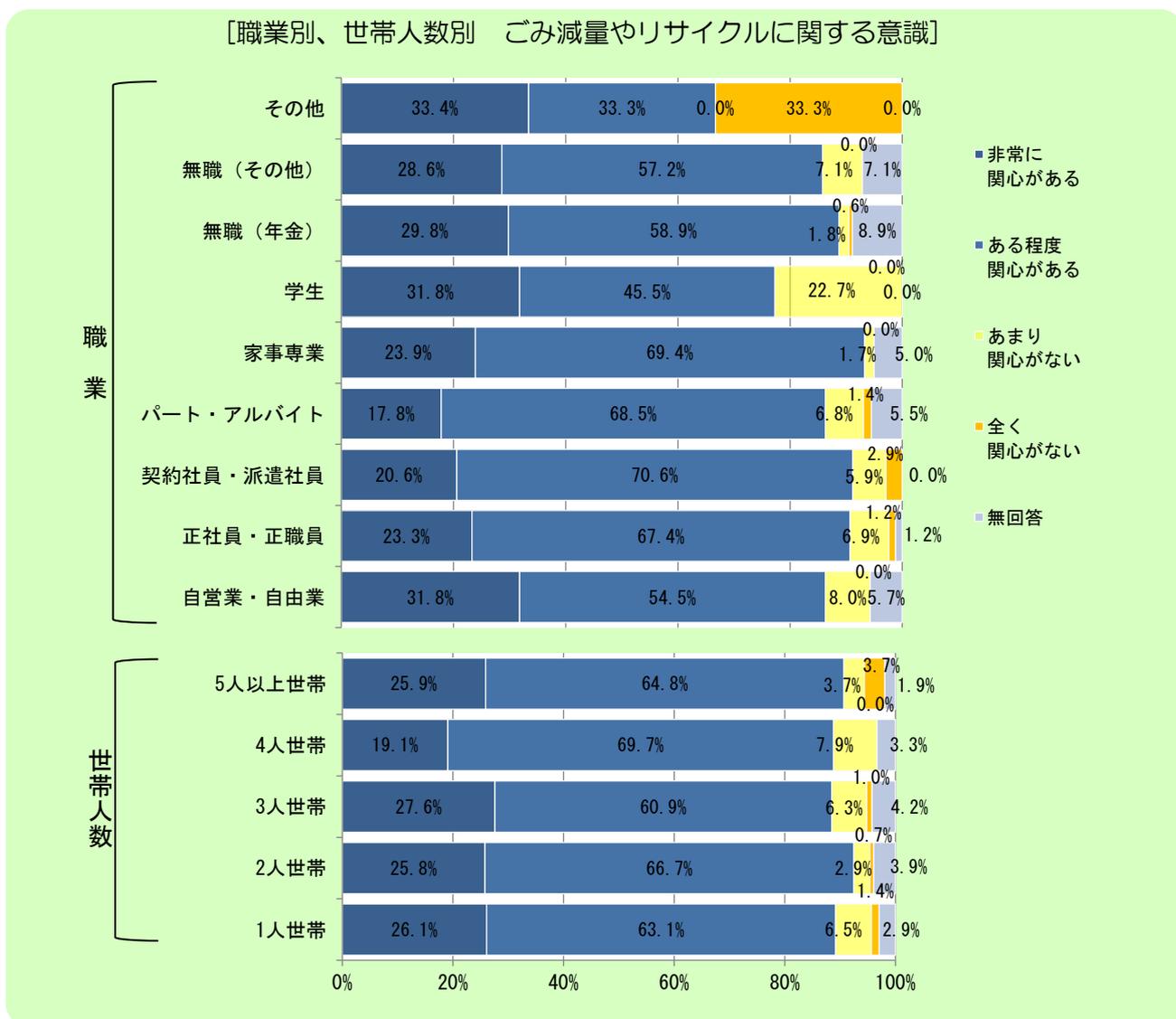
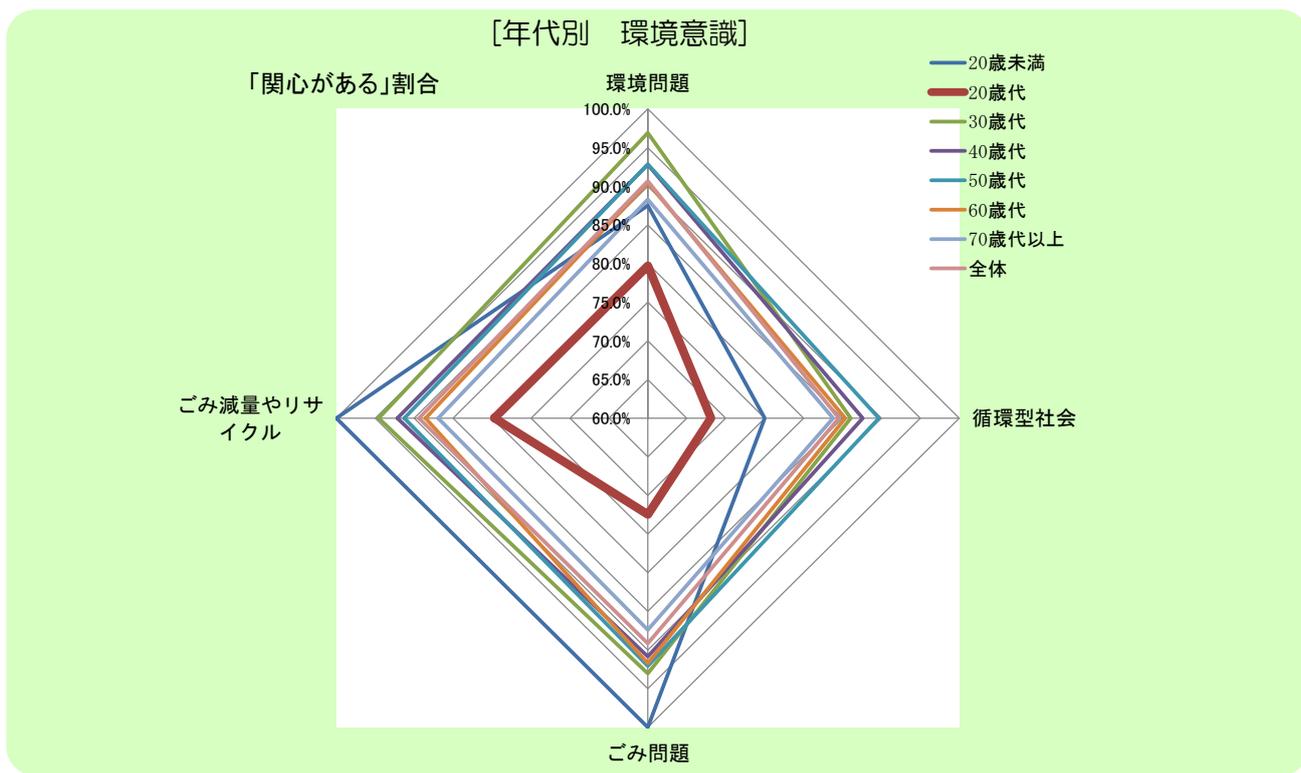
調査票を郵送で配布、回収を行い、867人からの回答を得ました。回収率は43.4%です。

#### ①回答者



#### ②環境問題等に関する関心の程度

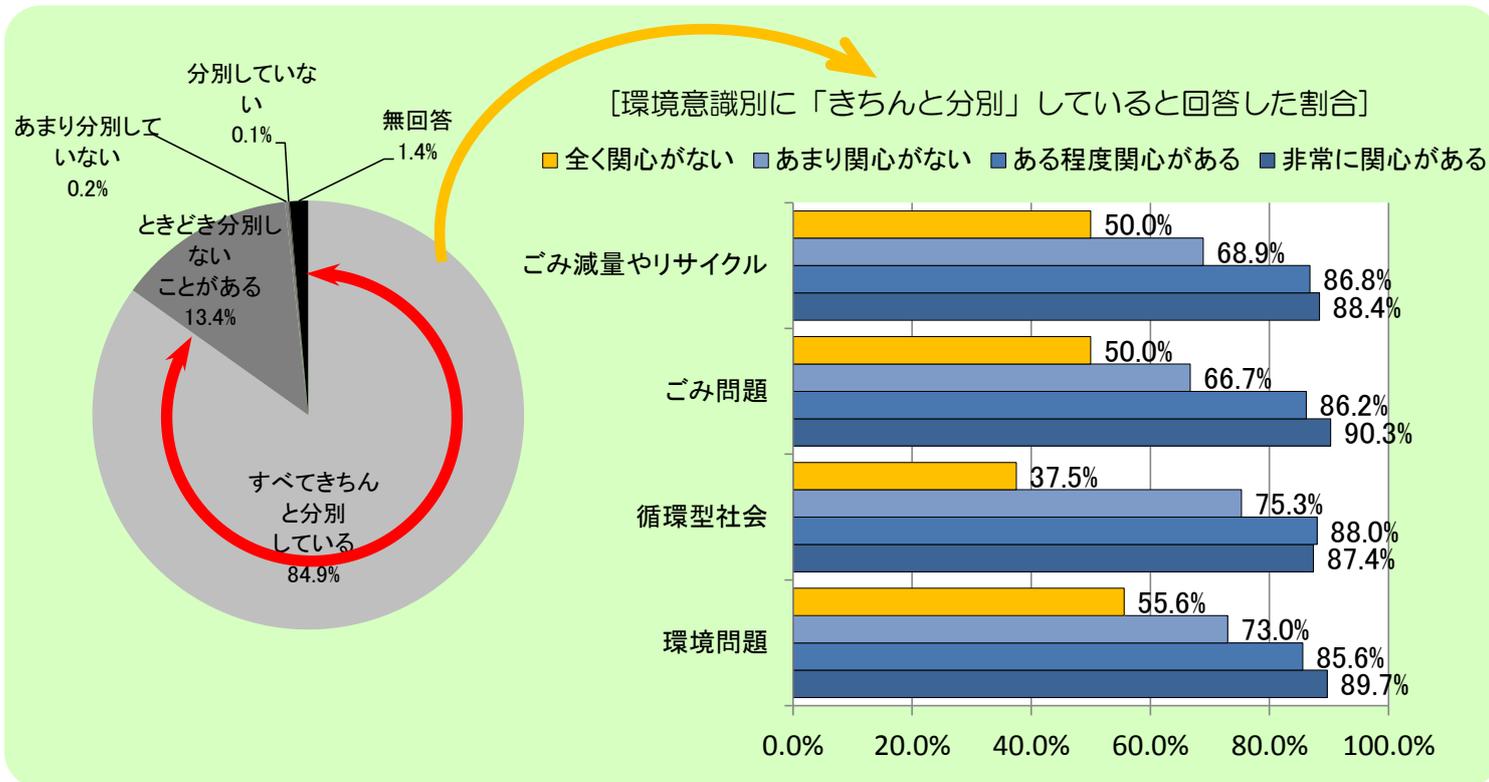




### ③ごみの分別排出状況

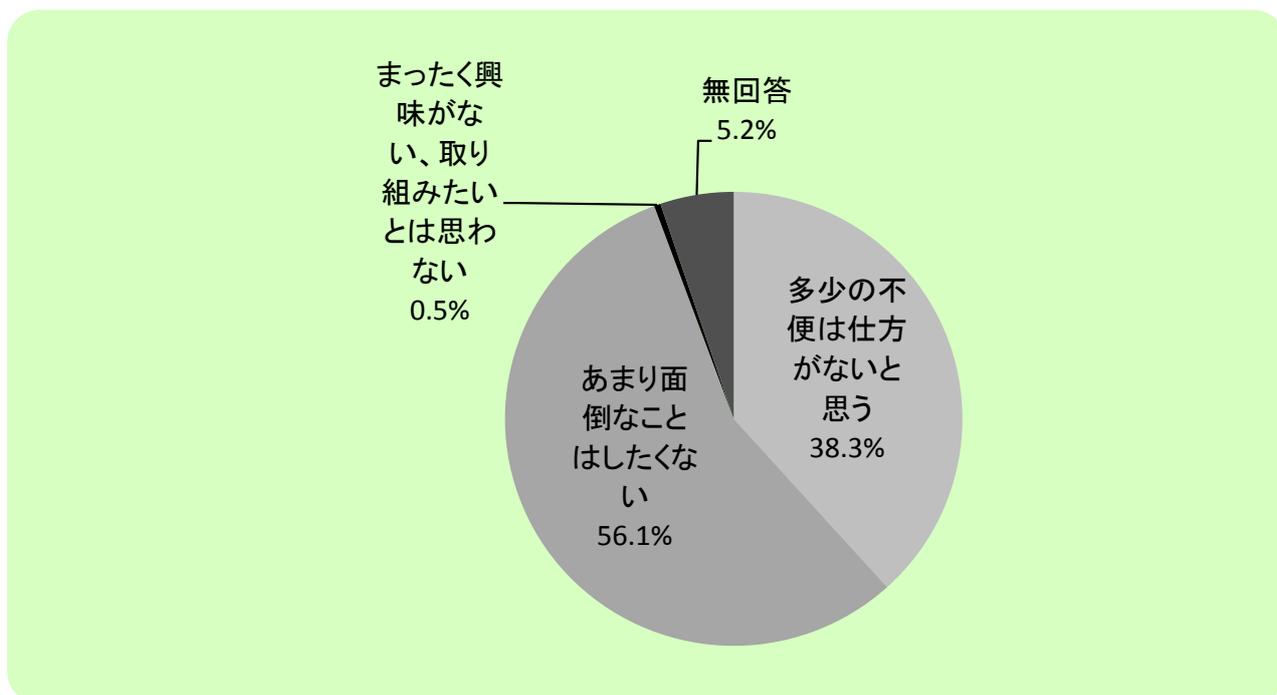
家庭での分別状況は「すべてきちんと分別している。」が約85%です。

環境問題等に「全く関心がない」と「きちんと分別している」割合は、明らかに低くなります。

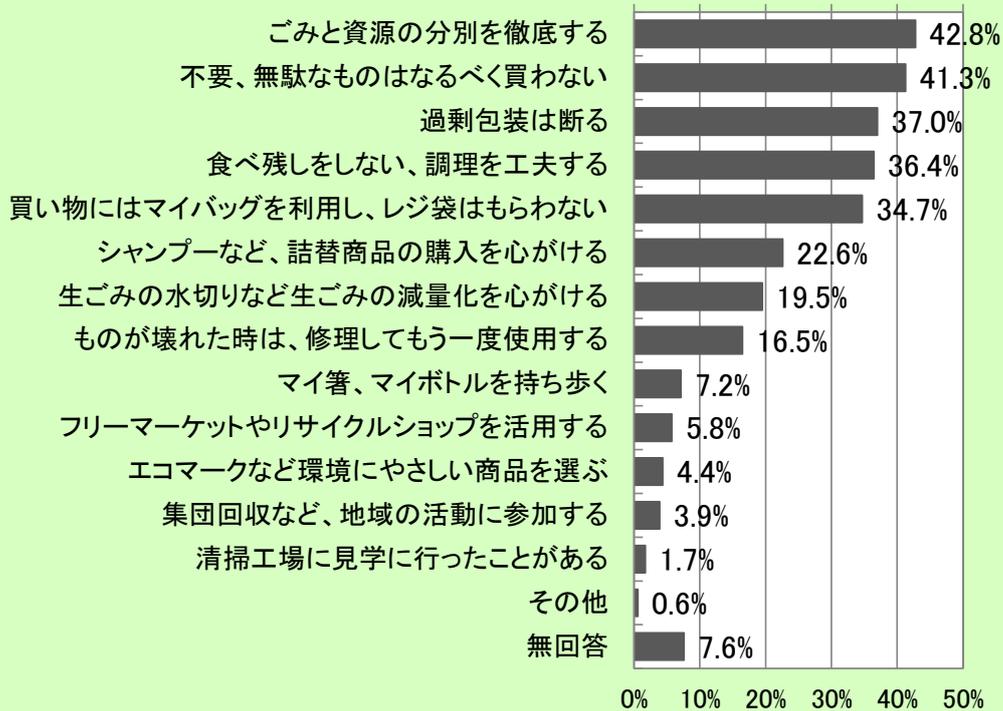


### ④ごみ減量への取り組む場合の考え方

ごみ減量・環境問題に取り組むとした場合「多少の不便は仕方がないと思う」が約38%、「あまり面倒なことはしたくない」が約56%でした。



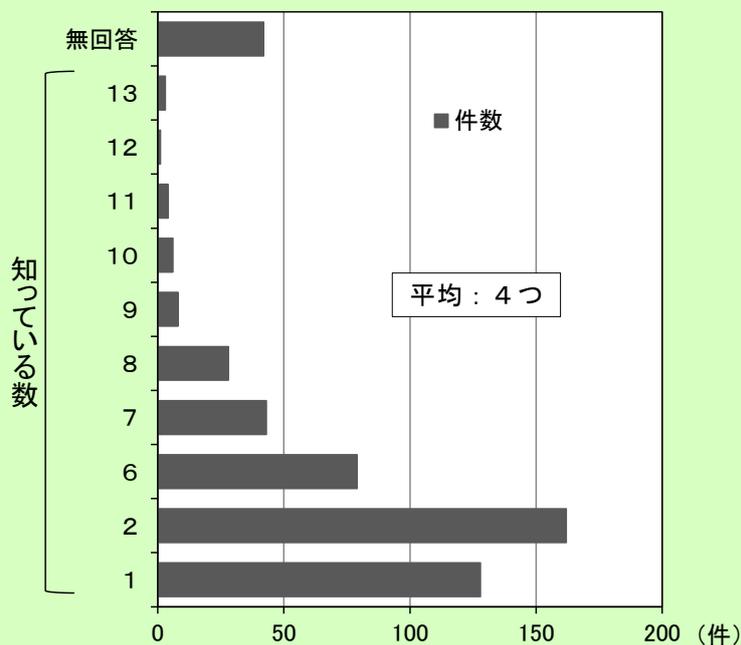
[ごみ減量やリサイクルの推進に重要と思うこと]



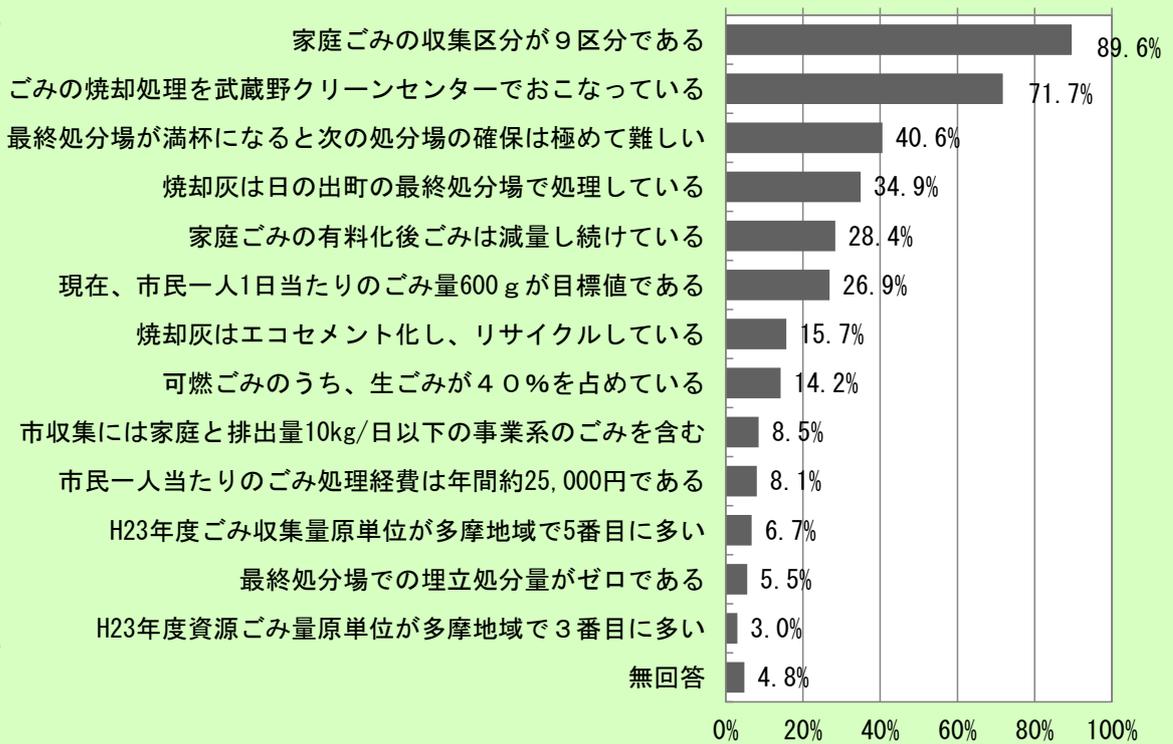
⑤武蔵野市のごみの現状で知っていること

武蔵野市のごみの現状で知っていることを選択肢の中から選んでいただきました。「家庭ごみの収集区分が9区分である」ことは約90%が知っていました。「ごみの焼却処理を武蔵野クリーンセンターで行っている」ことは約72%が知っていました。選択肢の中では2つ知っている方が最も多く、平均は4つでした。

[ごみの現状で知っていた数]



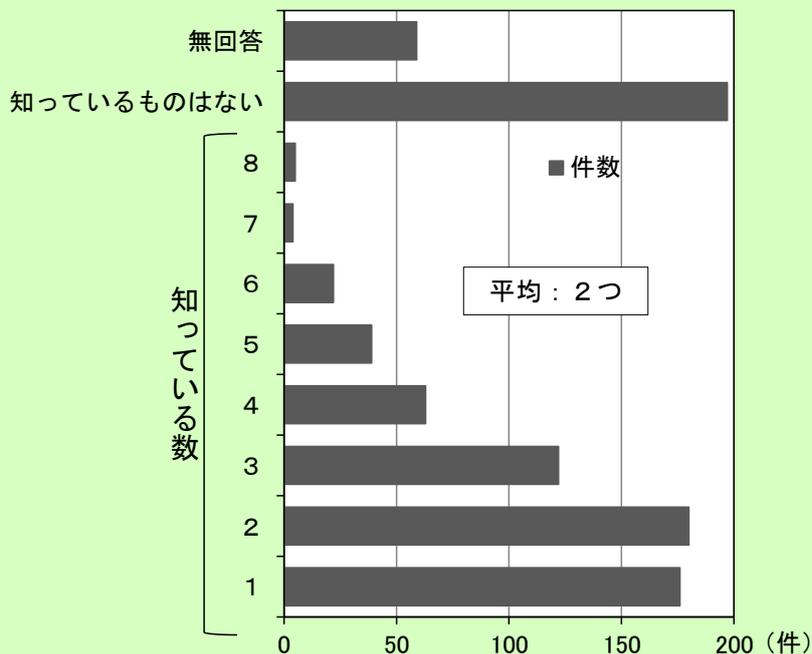
ごみの現状の選択肢

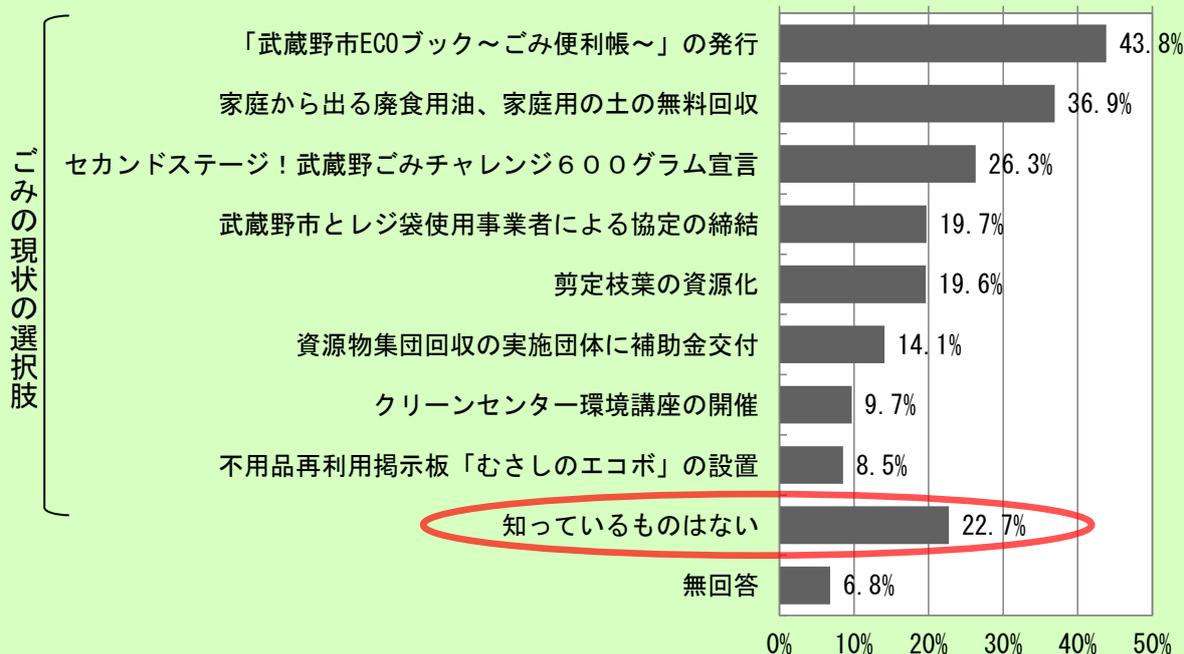


### ⑥ごみ減量やリサイクルの取り組みで知っていること

武蔵野市のごみ減量やリサイクルの取り組みで知っていることを選択肢の中から選んでいただきました。「武蔵野市ECOブック～ごみ便利帳～」の発行」を約44%が、「家庭から出る廃食用油、家庭用の土の無料回収」を約37%が知っていました。選択肢の中では2つ知っている方が最も多く、平均は2つでした。「知っているものはない」との回答は約23%ありました。

[市の取組で知っていた数]



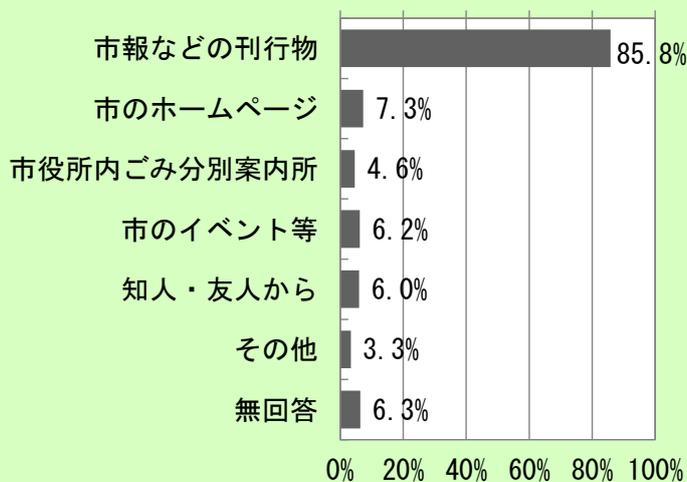


### ⑦武蔵野市のごみ減量やリサイクルに関する情報提供のあり方

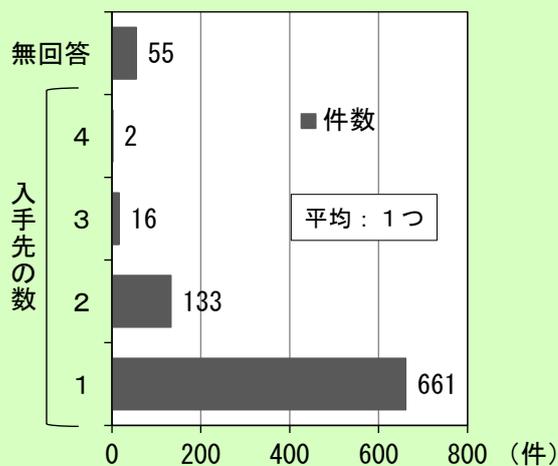
ごみ減量やリサイクルに関する情報を入手する方法は、約86%が「市報などの刊行物」でした。情報入手する方法の数は、平均1つでした。

今後の啓発や情報提供の充実のために必要なことは、回答者全体では「市報等で定期的に特集を組む」が約51%、「市報等に折り込みチラシを入れる」が約46%でした。

[情報の入手方法]

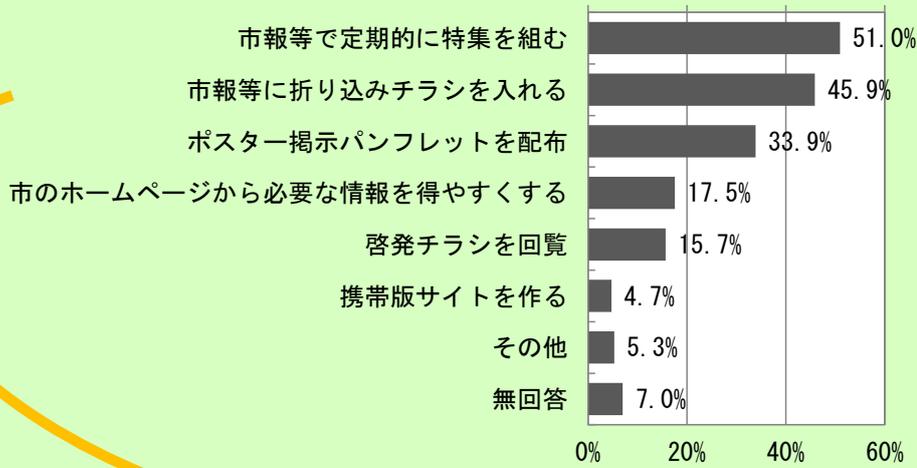


[情報の入手方法の数]



[今後、情報提供の充実のために必要なこと]

(回答者全体)



(年代：30歳未満)

(居住年数：5年未満)

